

椎の木



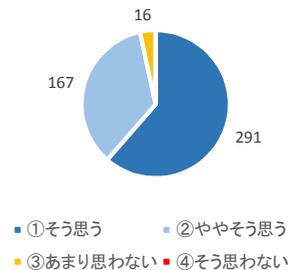
充実の2学期が始まる

2学期が始まります。2学期は各学級・学年・そして全校の高まりをつくる充実期です。行事も、みんなで団結をし、感動を味わえる体育祭・合唱祭もあります。3年生から2年生に全校のリーダーが引き継がれる時でもあります。1年生も先輩になる準備を進めていかなければならない時期です。次のステップへの意識を高める時期です。

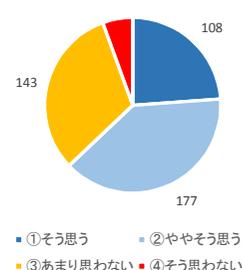
生徒一人ひとりをチーム東部中として教職員全員で育成をする。この基本方針の下、教育実践を更に充実したものにしていきたいと思います。生徒の様子をよく見て、情報を早めに収集し、共有し、対応策を練ったり、どのような指導をすれば、生徒のモチベーションは高まり、意欲的に活動できるか、先を見ての見通しを持った実践を進めていきます。人間関係の調整力が今ひとつ課題となる東部中の生徒達ですので、併せて小集団指導・話し合い活動・ピアサポートなど丁寧な仲間づくりを進めていきます。

1学期の全校生徒の反省アンケートより（学習面）

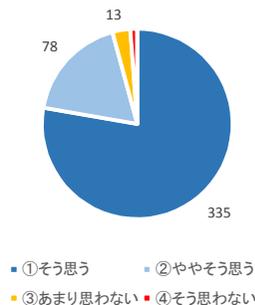
授業中学習の約束を守れましたか



注目して人の話を聴くことができる



小グループの学び合いは賛成である



（考察）グループ学習を肯定的にとらえている生徒が多い。先生の話聞くだけでなく、自分たちで意見交換をして学び合うことを望んでいる。しかし、中には人に聞けない、教えてもらえないという意識の生徒もあり、学び合うことの意義について、安心して生活できる人間関係づくりについて今後も丁寧に指導する必要がある。家庭学習の取り組みも実態に即した指導方法を学年で検討し、指導する必要がある。

<2学期の具体的な取り組み重点>

1 「だれにでもあいさつのできる東部中を目指します」

あいさつは様々な意味があります。一挨拶ということばがあるように、「自分から心を開いて接し、相手を理解する。」という意味もあるそうです。活発な挨拶が交わされる集団は活気があります。また、安心して生活することができます。本校学校教育目標「笑顔・熱中・思いやり・そして共に歩む東部中生」の具現化の一つとして大切な活動です。夏休みの研修会で「大手商社はまず、入社試験であいさつを見る」という話も聞きました。将来に必ず生きてくる力です。まず、お手本は先生方から…。元気に挨拶を交わします。今後生徒会活動・部活動とも連動して取り組んでいきます。

2 「団結することの喜びを体育祭・文化祭（椎木祭）で味わえます」

今年は純粋なシスター対抗の体育祭となります。体育祭で何をねらうのか？「団結することの喜び・感動」「活躍できる充実感」「仲間からの応援で元気つけられる喜び…。」いろいろあると思います。「運動の苦手な生徒も最後までやりきって頑張れた。」「仲間から応援されてうれしかった。」「リーダーも「みんなから支えられてうれしかった。頑張った。良かった。」という喜びを味わわせたいと思います。そのためにも、チーム東部中として全職員で生徒に寄り添い指導に当たり、共に感動を味わいたいと思います。

3年生はこれから受験の取り組みになります。「受験は大人へのひとつの試練」ととらえ、自己中心的になりがちですが、「誰一人も置いていかない」という気風を育て、皆で励まし合い受験を開拓して行ってほしいと思います。誠実な取り組みが最高の卒業式（この仲間とこの先生と一緒に生活できてよかった）をつくりあげるのだと思います。

2年生は、全校のリーダーを意識させる取り組みを計画します。「私たちの学年で東部中学校をこう高めた。」何か自信を持たせる取り組みを作りたいと思います。他学年の先生方からの評価がより一層自信を持たせることができますので、みんなで応援していきます。まずは部活動、次に委員会運営にリーダーシップを取らせたいと考えています。

1年生は、先輩を意識させる取り組みをしていきます。1学期から継続してきた課題をひとつずつ共通歩調で改善をしていく取り組みを更に学級化していきます。「自分たちの学級はこれがすばらしい。これは負けない。」そんな自負できるものを見つきたいし、その良さを学年に広めていきたいです。

それぞれの学年は次のステップを視野に入れ、丁寧な指導を心がけます。

3 「授業力の向上を目指した取り組みを行います」

1学期末に全校生徒より、全教員の授業評価を実施し、集計結果を各教科担任に渡し、2学期の授業改革プランを作りました。これから、校長と面談を行い、授業改革のプランをより具体的にイメージし、実践を行っていきます。そして2学期末に再度、生徒より授業評価をしてもらい、成果と課題をまとめ、3学期の取り組みにつなげます。このように教師自身も学習指導要領改訂を視野に入れ授業改革に向けて、マネジメントしていきます。ポイントは①導入の工夫と学習課題に提示の工夫②授業の山場での小グループを活用した学び合い③授業の終わりにおける各自の授業の振り返り（深い学び）という流れになります。2学期も授業公開を計画しますので、ぜひ学校に足を運んで下さい。

4 部活動の運営について改善を図ります

流山市部活動ガイドラインが9月より施行され、本校の部活動ガイドラインもHPにアップしました。平日2時間程度・土日は3時間程度の練習となり、土日のいずれか1日の実施となります。限りある練習時間の中で生徒が課題意識を持ち、効率的な練習を行い、成果を挙げるのが求められます。短時間の練習の中でのチームとしての目標を部員一人ひとりが認識し、課題意識をもって取り組み、相互に評価できる自治力のあるチーム運営が問われています。